

## 2026 年度 外国語論文投稿支援制度＜大学院生区分＞ 募集要項



### 1. 外国語論文投稿支援制度の目的・性格

本制度は、大学院生による研究成果の国際的な発信を促進することを目的として、ジャーナルへ投稿を行う際に必要となる論文校正費、論文掲載費について随時募集・助成する制度である。

### 2. 募集内容

助成対象	大学院生が外国語で論文投稿を行う際に、必要となる論文校正費（上限 5 万円 /1 件）、論文掲載費（上限 5 万円/1 件）に対して助成を行う。 ※校正費と掲載費の両方に申請される場合は、同一論文の費用であること。
助成対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文校正費（上限 5 万円（税込）/1 件） 投稿する論文（プロシーディング含む）の外国語翻訳・校正に係る経費、投稿ジャーナル選択、投稿前ピアレビュー、論文用グラフィック調整、ジャーナル投稿代行、受理後の再投稿のサポート、またはそれに類型されるサービス。</li> <li>論文掲載費（上限 5 万円（税込）/1 件） ジャーナル・国際会議等へ外国語論文を投稿する際の論文（プロシーディング含む）掲載に係る経費（論文投稿料、論文・表紙掲載料、Web 掲載料、オープンアクセス料、学会参加費、別刷代および追加別刷代等。またこれらの支払いに伴ってかかる郵便振替手数料や送金手数料）。</li> </ul> <p>※学会参加費は大学院生区分のみ対象経費とする</p>
申請資格	次のすべての資格を満たすこと ① 論文の校正・投稿時に本学の正規課程に在籍する大学院生であること。 休学期間中に本助成に申請することは認めない。また、休学期間中に支払いを行った論文について、復学後に申請することも認めない。いずれも助成の対象外とする。 ② 当該年度において初めての申請であること。 ③ 本制度を用いて、複数の大学院生で予算を合算使用することは認めない。 （1 回の申請において申請できる補助上限額は 10 万円となる。）
助成対象期間	2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日に投稿される日本語を除く論文を対象とする。（在籍期間分のみ申請可能：当該年度内に修了予定の者は以下参照） <b>（2026 年度修了予定者の助成対象期間）</b> 2026 年 9 月修了：前期課程院生：9 月 23 日まで、後期課程院生：9 月 25 日まで 2027 年 3 月修了：前期課程院生：3 月 20 日まで、後期課程院生：3 月 31 日まで ※校正・投稿された日は領収書に記載された日付を基準とするが、合算した教員研究費への振替とする場合は、請求書・納品書に記載された日付を基準とする。
本制度の申請期限	2027 年 2 月 26 日（金）17:00 なお、2026 年 9 月修了予定者は 8 月 31 日（月）までとする。 ※研究費の執行は当該年度の予算にて発注・納品・支払いまでを完了することが原則となっていることから、証憑類の日付が申請期限や年度をまたぐ可能性がある場合には事前に相談すること。 <b>※別途「事前申請」についての定めがある。「事前申請」開始 1 か月前を目途に詳細を moodle+R 等で案内する。</b> ※本制度の予算の関係上、予算範囲内での助成になるので、年度予算を満額執行した時点で助成は終了となる（上限目安：論文校正費 130 件、論文掲載費 140 件）。その場合は、moodle+R 内のコース「大学院キャリアパス推進室」や RITSUMEIKAN STUDENT PORTAL にて広報する。

### 3. 助成の決定

審査のうえで、助成を決定する。

### 4. 留意事項

(1) 本制度の申請は助成対象期間内 1 回に限る。

※本制度による外国語論文校正費の助成を受けた論文をジャーナルに投稿する場合は、同一年度内であっても外国語論文掲載費の申請を認める。

(2) 共著の取扱いについて

共著論文に関して、著者のうちいずれかの著者が申請する場合、他の共著者については当該年度に別の論文に関して申請が可能。1 回の上限額は最大で教職員は 10 万円、大学院生は 10 万円であり、共著論文であっても同申請区分同士の場合（論文著者：A 先生および B 先生、大学院生 C および大学院生 D）、限度額は変わらない（教職員区分：上限 10 万円、大学院生区分：上限 10 万円）。

ただし、教職員と大学院生による共著論文である場合（論文著者：大学院生 D および E 先生、申請者：大学院生 D および E 先生）、両申請区分における併用を可とする（教職員区分+大学院生区分：上限 20 万円）。

また、大学院生区分では、博士後期課程の学生に限り、「論文投稿支援制度」の区分 A・区分 B との併用を可とする。

(3) 学内誌【立命館大学〇〇研究所紀要】等への外国語論文の掲載は、大学院生区分は「対象」とする。

(4) 本制度の助成を受けた場合、ジャーナルへの投稿は必須とする。但し、査読付き論文において、投稿後にジャーナルに受理されなかった場合の返還は求めない。

(5) 研究費との合算は以下の通りとする

① 本制度と指導教員を含む教員の「科研費」を合算することは「不可」。

② 学振特別研究員 DC1, DC2 採択者が、本制度と指導教員を含む教員の「科研費」を合算することは「不可」。

③ 学振特別研究員 DC1, DC2 採択者が、本制度と自身の「特別研究員奨励費」を合算することは「可」。

### 5. 審査結果の通知

審査結果については、順次、応募者に通知する。

### 6. 申請書類および個人情報の取扱い

(1) 申請書類等の提出物は本制度の運用の目的にのみ利用する。

(2) 申請書類等より取得した個人情報は、本プログラムの運用以外の目的には利用しない。

### 7. 申請手続

所定の様式に基づき、以下の URL から WEB 申請を行う。

<https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=13451>

WEB 申請時に以下の書類を Word・PDF 等添付してください。

論文校正費	・ 投稿論文のデータ ・ 金額の根拠が分かるもの（請求書・見積書・納品書など） ・ 領収書（※1） ・（領収書が無い場合、または、クレジットカードで外貨払いした場合）クレジットカードの利用明細書*原則黒塗り不可（※2）
-------	--

	<p><u>※合算した教員研究費への振替とする場合は、領収書ではなく当該研究費にかかわる請求書・納品書で可とする。</u></p>
論文掲載費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿論文のデータ</li> <li>・ 投稿・受理されたことが分かるもの（資料・メールなど）</li> <li>・ 金額根拠が分かるもの（請求書、その他金額根拠が書かれた資料）</li> <li>・ 領収書<b>*自署および押印不可</b>（※1）</li> <li>・ （領収書が無い場合、または、クレジットカードで外貨払いした場合）クレジットカードの利用明細書<b>*原則黒塗り修正不可</b>（※2）</li> </ul> <p>&lt;国際学会への投稿の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿論文のデータ</li> <li>・ 国際学会の概要が分かる資料（開催日など）</li> <li>・ 投稿・受理されたことが分かるもの（資料・メールなど）</li> <li>・ 金額根拠が分かるもの（請求書、その他金額根拠が記載された資料）</li> <li>・ 領収書<b>*自署および押印不可</b>（※1）</li> <li>・ 領収書が無い場合、または、クレジットカードで外貨払いした場合）クレジットカードの利用明細書<b>*原則黒塗り修正不可</b>（※2）</li> </ul> <p><u>※合算した教員研究費への振替とする場合は、領収書ではなく当該研究費にかかわる請求書・納品書で可とする。</u></p>
<p><b>※1 領収書、クレジットカード等の証憑類への自署および押印は不可。</b></p> <p><b>※2 必要な証憑については、moodle+R 内のコース「大学院キャリアパス推進室」の本制度コンテンツ掲載「証憑に関する補足資料」を必ず確認すること。</b></p>	

## 8. 問合せ先

### ○大学院生区分

キャンパス	担当課・担当者
全キャンパス	〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学朱雀キャンパス5階 RARA オフィス 外国語論文投稿支援制度（大学院生区分）担当 外線：075-465-8190 E-mail：g-schol2@st.ritsumei.ac.jp

### 研究者 DB 入力のお願

研究者 DB は、研究業績やプロフィールを Web から公開するためのデータベースです。  
 本制度を利用した教職員および大学院生においては、研究成果について必ず情報を入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。

大学院生は (Ri-SEARCH) こちらから登録してください

<[https://www.ritsumei.ac.jp/ru\\_gr/g-career/research/](https://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/research/)>

以上